

ジェンダーに基づく暴力(GBV)の専門家ではないあなたが、GBVサバイバーのためにできること: 人道支援従事者のためのステップ・バイ・ステップ ポケットガイド バージョン2.0

2015年9月、IASC Guidelines for Integrating Gender-based Violence Interventions in Humanitarian Settings (通称:GBVガイドライン)が発表されました。2016年から2017年にかけて、GBVガイドラインの導入サポートチームは、18カ国の2,500人以上、11セクターにわたる人道支援従事者に対し、ジェンダーに基づく暴力関連のリスクを減らす方法について研修を行いました。

研修参加者は、それぞれのおかれた状況やセクターに関わらず、**自分の担当地域にジェンダーに基づく暴力(GBV)の支援機関(GBVに関する紹介経路やGBV専門家/フォーカスポイント(担当窓口)を含む)がない場合に、GBVサバイバーをどのようにサポートするか**に関する、簡潔で実用性の高い資料への関心と必要性を指摘しました。この点について他の関係者や調整メカニズムと協議したところ、この課題はさまざまな状況や支援機関間で共通していることがわかりました。

このギャップを埋めるため、GBVガイドライン・レファレンス・グループとGBV地域担当が集まって合同作業部会を開き、GBVガイドラインの補助ガイドとして、GBV紹介経路やGBV担当窓口がない場合にGBVのサバイバーをサポートする方法に関する資料一式(「ポケットガイド」)を作成しました。この資料一式は、2017年9月から2018年2月にかけて、作業部会のメンバー、外部有識者、協議会参加者の専門知識を活用して作成されました。さらに、この資料は、シェルター(避難所)・クラスターの「GBV Constant Companion」やIRC/ユニセフの「性的虐待を受けた子どもへのケアガイドライン」といった国際的に使用されている既存のツールと連携しています。

2018年2月版のポケットガイド資料一式には、アラビア語、英語、フランス語、スペイン語による印刷版、オンライン版、モバイルアプリ版が含まれています。

GBVガイドラインについて

2015年版GBVガイドライン(2005年版からの改訂版)は、ジェンダーに基づく暴力(GBV)関連のリスクを軽減するために不可欠な行動について、紛争や自然災害の影響を受けた人道支援関係者や地域組織にガイダンスを提供し、より安全で効果的なプログラムをもたらす、実践的かつ現場で実証済みのツールです。GBVガイドラインはGBVの専門家でない人を対象にしています。あなたはGBV専門家でなくても、GBV関連のリスクを軽減するために、担当セクターの日常業務の中で行動することが求められます。GBVガイドラインへの関心度、周知度、導入のレベルを最大化するために、3年間の実施戦略が展開されています。

ポケットガイドの目的は何ですか?

このポケットガイドの目的は、すべての人道支援従事者に、具体的な情報をわかりやすく、持ち運びやすいガイドとして提供することです。

→ **あなたの地域にジェンダーに基づく暴力の支援機関がない状況で(紹介経路やGBV相談窓口を含む)、あなたに被害を打ち明けてきたサバイバーを支援する方法。**

このポケットガイドは、国際基準に基づいて、GBVのサバイバーをこれ以上傷つけることなく、基本的な支援と基本情報を提供します。このポケットガイドは、GBVの専門家による助言を踏まえつつ、活動地域の状況に応じて活用してください。

ポケットガイド資料一式には何が含まれていますか?

1. **背景説明** では、ポケットガイドと共にアドボカシーと協調に関わる重要な情報を紹介します。

2. **ユーザーガイド** は、あらゆる部門のプログラムマネージャー、技術コーディネーター、チームリーダー、その他同様の実務者を対象としています。ユーザーガイドは、ポケットガイドを周知し、もしジェンダーに基づく暴力のサバイバーが被害を打ち明けたり、サポートを求めたりした場合に、ポケットガイドを使用してサバイバーをサポートできるチームの体制づくりを支援します。

(次ページへ)

3. ポケットガイドは、すべてのクラスター／セクターの最前線の支援提供者を対象とし、GBVのサバイバーが、その地域で利用可能なGBV支援機関／紹介経路がない状況で支援を求めた場合に、どのように支援すればよいかを簡単に参照できます。

ポケットガイドは誰が使うのか？

このポケットガイドは、保健衛生指導者、地域保健員、避難所の管理者、各種相談窓口など、支援が必要な対象地域にサービスを提供する最前線にいるGBVの非専門家を対象としています。

ポケットガイドには何が含まれていますか？

ポケットガイドは、サバイバーが人道支援従事者に対して自らの被害を打ち明ける際に、実用性の高い情報源となるよう設計されています。読みやすいフローチャート、「Dos (やるべきこと)」と「Don'ts (やってはいけないこと)」について簡単に参照でき、「Prepare (準備する)」「Look (見る)」「Listen (聴く)」「Link (つなぐ)」の枠組みに従ってステップ・バイ・ステップで行動しやすく整理されています。

このポケットガイドには、子どもや若者、性的マイノリティ、障害のあるサバイバー、男性のサバイバーへの配慮が盛り込まれています。

どこで入手できますか？

- オンライン上はwww.gbvguidelines.orgとwww.gbvaor.net。プリントアウト可能なファイルは高解像度版と低解像度版があります。
- アプリ版は、Google Play または iTunes Store で「GBVポケットガイド」で検索し、ダウンロードしてください。

アドボカシーと協調のためのキーメッセージ

1. IASCのGBVガイドラインのように、GBVリスク軽減策を統合することは、すべての人道支援関係者が担うべき重要な責任というだけでなく、すべてのセクターにわたる人道的対応の効果を促進させます。
 - a. 「Do No Harm (危害を与えない)」の原則とIASCの「Centrality of Protection (保護の中心性)」声明に従い、あらゆるセクターの人道支援者は、GBVのリスクを最小化し、脆弱なグループのアクセスを確保できる方法で事業を設計し、実施する責任があります。
 - b. 事業がより安全でアクセスしやすくなると、より多くの人々が恩恵を受け、全体的な成果が向上します。一方、GBVの懸念に対処できなければ、あらゆるセクターにおける人道的介入の有効性が損なわれます。
2. 既存のジェンダー不平等は、危機下において女性と女兒を特に脆弱にし、性的暴力、家庭内暴力、強制結婚、性的搾取や虐待など、複数の形態のGBVにさらされる可能性を増加させます。
 - a. 家族が基本的なニーズを満たすことができない場合、女性と女兒は危険な対処方法を取らざるを得ず、GBVにさらされる可能性が増えます。
 - b. 女性と女兒に意義のある参加の機会が提供されない場合、彼女たちのニーズやサービスへのアクセスは、人道支援の提供に反映されないことが多くなります。

今後に向けて: 作業部会は、モバイルまたは交通手段が必要なサービス、電話ホットラインや機密性の高いオンラインチャットのようなバーチャルサービスといった、情報提供方法の拡大を模索しています。GBVの専門家も、GBVに対応・予防・リスク軽減のための新しいサービス提供モデルを模索しています。合同作業部会は、こうしたニーズに対応するためのツールや資料をさらに充実させることを目指しています。

取り組む: あなたの地域でのポケットガイドの普及や、緊急事態におけるGBVリスク軽減のための対話への参加に関心がある方は、eメールでご連絡ください。gbv.guidelines@gmail.com

謝辞: 作業部会は、このポケットガイド資料一式の策定に関った外部の専門家・専門機関や協議に参加された方々の多大な技術的支援や調整へのご協力に感謝申し上げます。ACF, Camp Coordination and Camp Management Cluster, Child Protection Area of Responsibility, Inter-Agency Working Group on Reproductive Health in Crisis,

International Committee of the Red Cross, IRC, Irish Consortium on Gender-based Violence, IOM, OXFAM, Shelter Cluster, Trocaire, UNFPA in the Whole of Syria Region, UNHCR, UNICEF South Sudan, WASH Cluster, World Vision South Sudan, WFP South Sudan, Women's Refugee Commission.